

動物実験実施報告書

提出日

2025/04/10

年度を西暦で入力してください。入力された年度で報告書名を更新します。

報告年度

(1) 動物実験責任者

所属

医学部

職名

教授

氏名

氏名を入力してください。

連絡先

内線を入力してください。

Email

e-mailを入力してください。

(2) 動物実験計画書承認番号

確認

(3) 研究課題

(4) 承認期間

～

以下に動物実験の実施状況を承認された動物実験計画書（変更申請書を含む）と比較し
ご報告いたします。

(5) 自己点検・評価

1) 実験動物

☐ 変更無

☐ 変更有

備考

2) 飼養場所

☐ 変更無

☐ 変更有

備考

3) 動物実験場所

☐ 変更無

☐ 変更有

備考

4) 実験処置

☐ 変更無

☐ 変更有

備考

5) 安楽死方法

☐ 変更無

☐ 変更有

備考

6) 人体や環境に対する危険因子

☐ 変更無

☐ 変更有

備考

(6) 当該年度の成果内容

- ☐ Ufinity(Researchmap)に追加しました。
- ☐ 下記に記載します。(学会や論文発表等を記載することで代用しても結構です。)

以下の記載例を参照

例：(学会や論文発表等を記載することで代用しても結構です。)

Beneficial effect of combined treatment with octreotide and pasireotide in PCK rats, an orthologous model of human autosomal recessive polycystic kidney disease. Kugita M, Nishii K, Yamaguchi T, Suzuki A, Yuzawa Y, Horie S, Higashihara E, Nagao S. PLoS One. 2017 May 18;12(5):e0177934.

Increased salt intakes dose not deteriorate renal cystic disease progression in high water loaded PCK rats. Masanori Kugita, Tamio Yamaguchi, Yoichi Nagamura, Harold M Aukema, Shizuko Nagao. Kidney Week 2016, Chicago, IL, U.S.A., 2016 Nov 15-20

多発性嚢胞腎症モデル動物の腎臓におけるRXRの発現と局在 吉原大輔、釘田雅則、長尾静子 第59回日本腎臓学会学術総会、横浜、2016年6月17日～19日

クリア

下書保存

報告中止

報告